



を味方にする



あなたの

仕事と

会社業務



# 目 次

## 1 AIを活用しよう! でもその前に

- 1 “味方”にするには、  
AIの歴史を知る必要あり! ..... P1
- 2 AIの“得手・不得手”を理解しよう ..... P2
- 3 AIの導入は、仕事の“本質”を見直す契機 ..... P3

## 2 AIを味方にする! 活用への具体策

- 1 AIの有効活用は、  
関連部署とのチーム連携が要! ..... P4
- 2 AIを情報収集役に任命する! ..... P5
- 3 “定型文書作成役”はAIに台頭させる  
— 自社の印象度アップにも欠かせない!? ..... P8
- 4 資料作成に時間を費やす時代は終わる?  
— プレゼンの資料を超短時間で作成してくれる  
優れもの! ..... P11
- 5 “OCR”の活用は  
ペーパーレス化だけじゃない ..... P14
- 6 経営分析もAIが味方になる! ..... P16
- 7 事業計画書の策定を単に  
“面倒な作業”にしない! ..... P18

## 3 仕事の“本質”を見直す

- 1 AIの導入は受け身から脱皮する契機 ..... P20
- 2 AIを導入・活用するうえでの  
注意点と対応策 ..... P22

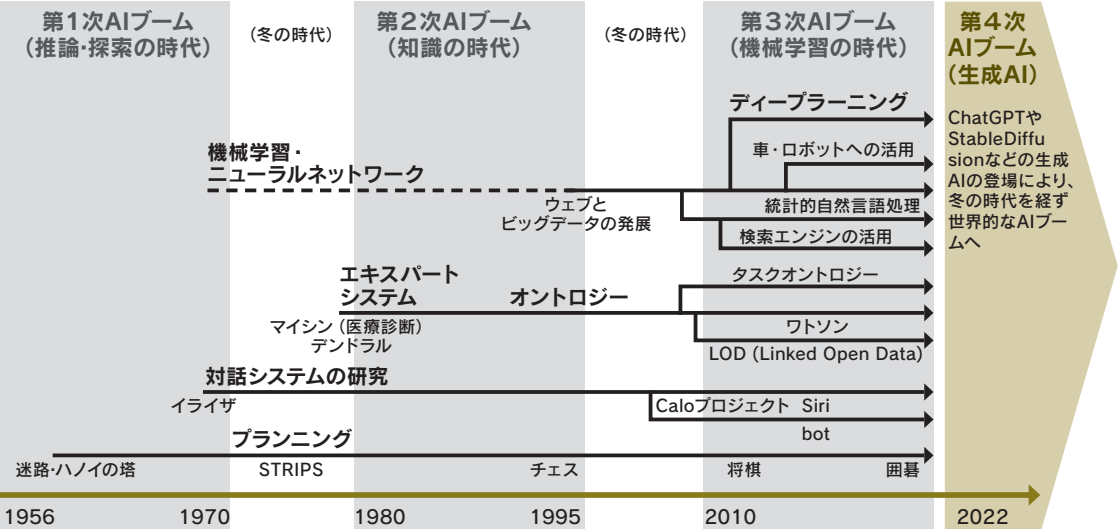
# 1 AIを活用しよう! でもその前に

## 1 “味方”にするには、AIの歴史を知る必要あり!

### 「AI」の歴史を紐解く

「AI」(Artificial Intelligence) = 人工知能。これは、ここ数年の間にトレンドワード入りをしたような印象を受けますが、かなり昔から徐々に発展を遂げ、今日に至っています。

歴史を紐解けば、まず 1950 年代に、「トイプロBLEM」と呼ばれる簡単な問題を解くレベルのものとして誕生しました。



出所：総務省「令和6年版 情報通信白書」P36

### 「AI」の歴史の変遷から、“現在”と“未来”を思考⇒行動をとるべし!

トイプロBLEMの誕生から 70 年程の年月を経て、近年の AI は、一般的な話し言葉である“自然言語”での問いに対し人間のような回答をしたり、絵を描いたり、音楽を創作することも可能となり、人間の生活が豊かにもなり得る進化を遂げています。

過去の研究者たちが、当時の課題を見据え、より良い未来のために徐々に発展を遂げたように、現代を生きるビジネスパーソンも未来を見据えて、AI を有効なツールとして活用する仕事の在り方の進化が求められます。

## 2

# AIの“得意・不得手”を理解しよう

## AIの“得意・不得手”とは？

AIは、万能選手ではありません。ビジネスツールの一つとして味方にするのであれば、まず、AIの得意・不得手を理解しましょう。

AIは大量のデータ処理が得意ですが、それが何の目的で処理されるのかを考えたとき、五感（視覚・聴覚・味覚・触覚・嗅覚）を通して相手を察する・感じとるなど、ソフト面での対応は苦手です。

AIの得意分野：**大量データの処理** **高速処理** **精度維持**

例) 無数に存在する論文などから、ジャンルを識別する  
これまでのデータの推移から、今後の傾向を予測する  
多数の応募者から人材を採用する（人事）  
品質維持をすべく製造を自動化する（製造）等

AIの不得手分野：**問いを立てる** **五感の察知**

## 五感を通し、個々の能力発揮に焦点を絞る

AIを活用する前に、“五感”を通して俯瞰し、不十分な業務や人材配置を軌道修正してみます。受け身にならずに、まずは自身で思考・実践することが大切です。

潜在能力が発揮されているか？ → 軌道修正 → 個々& AIの振り分け

たとえば、管理者であれば部下の仕事ぶりを思い出し（潜在能力が発揮されているか？）、適材適所に人材配置（軌道修正・個々& AIの振り分け）をします。いちスタッフであれば、得意分野が発揮できているか、そのセクションが自分にとって相応しい場所かを顧み（潜在能力が発揮されているか？）、自分だからこそでき得る仕事に注力することで、AIに任せて自動化させることが見えてくるかもしれません。

## 3

## AIの導入は、仕事の“本質”を見直す契機

### 最先端のテクノロジー導入が成功しない理由とは？

これはAI導入に限ったことではありませんが、やみくもに目先の作業ばかりに焦点を当てて、最先端のテクノロジーの活用策を検討したところで、会社業務の改善にはほとんどつながりません。結局は、相変わらずの手作業が残っていたり、新システムの管理・操作を担う人材を新たに採用したり、逆に手間やコストがかかってしまうケースが少なくないのです。

その理由の一つに、その職務の目的が何で、どこに繋がって、どのように貢献しているかといった根本的な仕事の本質が不明確であることがあげられます。

### あなたの職務のつながりを俯瞰することで、本質が明確化する

あなたが総務部で、資材の調達係であるとします。相見積りを各取引先に依頼したり、資材を選定したり、上長や経理へ承認手続きをとるなどが日常業務でしょう。

その本質は、顧客満足度の高い“良質で安価な材料仕入”です。改めて振り返ることで、個々が担う職務の中で、何を最大限に発揮するべきかを見てみましょう。

“良質で安価な材料仕入”を実現するためには、例えばAIで大量の仕入れ材料が盛り込まれているデータベースからふさわしいものを導き、あなたは関連部署に適切な材料について説得力あるプレゼンを披露したり、業者に対し価格交渉したりすることこそが最大限発揮する職務であることが見えてきます。環境にやさしい材料の定義を模索し、AIに説いてアイデアを具体化できるなど、職務の幅も広がります。

今後は、プレゼン自体もAIが代替できるときがくるかもしれませんが、あなた独自の発想でAIの活用策を検討し、人にしかできない仕事を考えることが大切です。

AI活用の前に、あなたが従事する仕事の本質を磨き続けるスタンスが必要です。

# 3

## “定型文書作成役”はAIに台頭させる —自社の印象度アップにも欠かせない!?

### 定型文書は、“ワード+ネット検索”から、生成AIにボタンタッチ

外部への案内文やお礼状等、間違えず恥ずかしくない文書作成は気も使い、意外と時間や労力を要するものです。これまでは、これらの“挨拶”から“起こし言葉”、そして“結び”が指定できる優れたものである“ワード”を活用したり、ネット検索で文例を見つけ、アレンジしながら文書作成してきた方も多いのではないのでしょうか。

生成AIが、文書作成役として優れた力を発揮するのは周知されてきたところです。

以下は、筆者が実際に活用した例で、新事業開設にあたり、内覧会にお越しになった方々へのお礼文作成の際のものです。

### Copilot (AI) を使った文書作成の事例



#### 質問

新事業開設の内覧会にお越しになった方々へのお礼文章を示してください。

#### AIからの回答

もちろんです！新事業開設の内覧会にお越しいただいた方々へのお礼状の文例をいくつかご紹介します。以下の文例を参考に、あなたの内覧会の感謝の気持ちを伝える素敵なお礼状を書いてみてくださいね。

#### 1. 取引先へのお礼状

謹啓、青葉の候、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

平素はひとからならぬご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

このたびは〇〇〇〇(店舗名)の開店にあたり、ご丁寧なご祝辞とお祝いを頂戴しまして、誠にありがとうございました。

おかげ様で開店のよき日を迎えられました。これもひとえに、皆様の温かいご支援あればこそ深く感謝いたしております。

お客様に末永く愛される店になりますよう、スタッフ一同精励する決意です。

どうぞ今後とも変わらぬお力添えを賜りますよう、お願い申し上げます。

謹白

実際には“1. 取引先へのお礼状”の他に“2. 友人へのお礼状”としての回答も得られましたが、ビジネスシーンなので前者のみを選択しました。ただし、AIアシスタントの回答で得られた文書例をそのままお送りするのは、相応しくない場合があるものです。必ず読み返し、相手の方の心に伝わる文書をお届けすることが肝要です。



### あなたの想いを添えてこそが、次のサクセスへと導く

できた文章を読み返し、適宜、修正するのは当然ですが、他にもあなた自身の気持ちや想いやを添えることで、より効果的に相手に伝わるものにできるでしょう。

上記の例文では、“お客様に末永く愛される店～”と表記されていますが、あなたが新規店舗を運営する立場だと想像して、この文章はあなたの想いと合致しているかです。たとえば、“あなたに喜んでいただける店”、“あなたの〇〇にお役立ていただけるよう～”など、お送りする相手の好みや属性に応じた内容に適宜変化させることで、印象はより良く伝わるものです。

定型文章の作成はAIに任せ、想いを添えるといったひと工夫に、人の時間や労力を使います。取引業者や顧客に対して案内文やお礼状を発信するシーンは、少なくなってもなくならないはずです。こうした工夫の積み重ねも、顧客との関係性の構築に役立つはずです。



- ・ 文書作成も、AIアシスタントに台頭させよう！
- ・ 回答された文書を効果的に校正することは、人間だからこそできる仕事。